



鉄道近接工事の注意点

九州旅客鉄道株式会社
佐賀鉄道事業部 清水



KYUSHU RAILWAY COMPANY



鉄道近接工事における事前協議の必要性

鉄道近接工事とは・・・

線路沿線での列車運行に影響を及ぼす範囲において自治体や沿線地権者等によって行われる工事のこと

『建設工事公衆災害防止対策要綱』

(令和元年9月2日 国土交通省告示第496号)

(土木工事編) 第40 鉄道事業者との事前協議

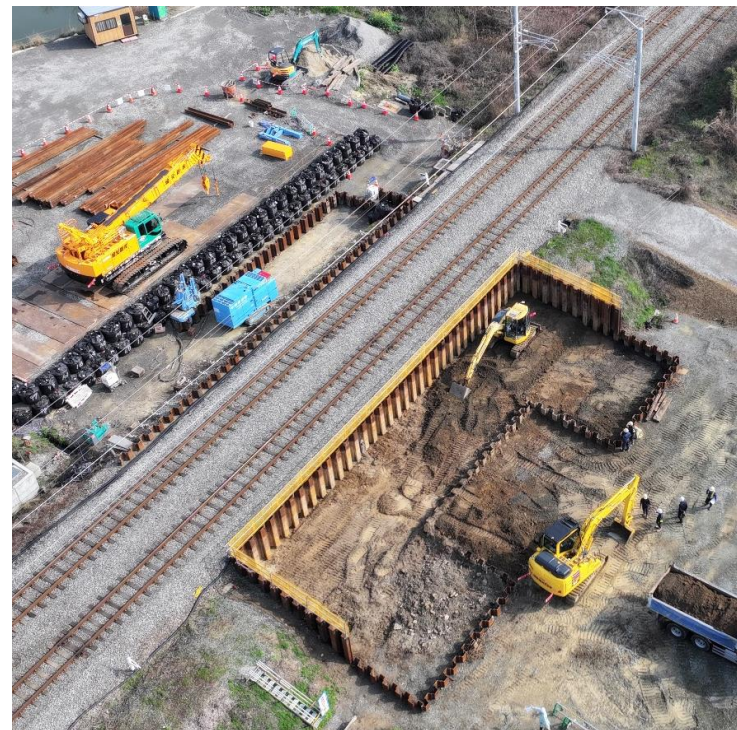
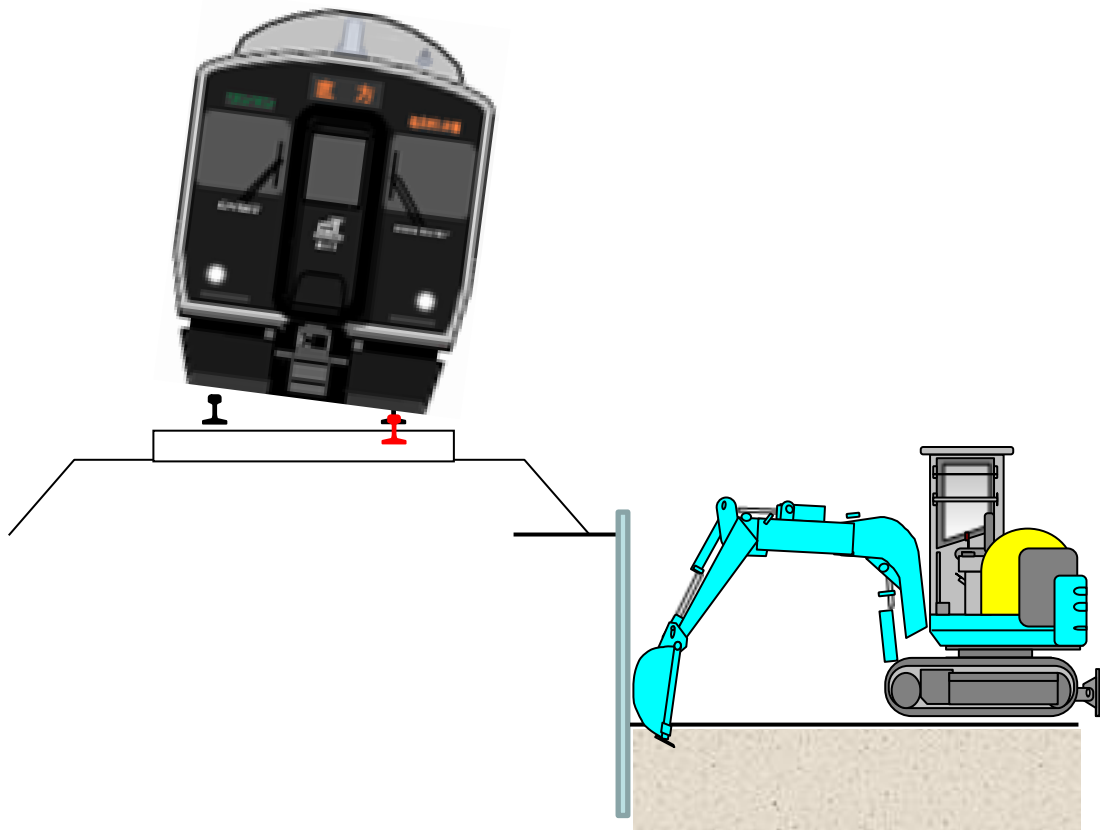
- 1 発注者は、軌道敷内又は軌道敷に近接した場所で土木工事を施工する場合においては、あらかじめ鉄道事業者と協議して、工事中における軌道の保全方法につき、次の各号に掲げる事項について決定しなければならない。

(建築工事編) 第28 鉄道及び軌道敷近傍での作業

- 1 発注者は、鉄道及び軌道敷に近接した場所で建築工事等を施工する場合においては、保全に関し必要な事項を鉄道事業者と協議しなければならない。

鉄道近接工事における事前協議の必要性

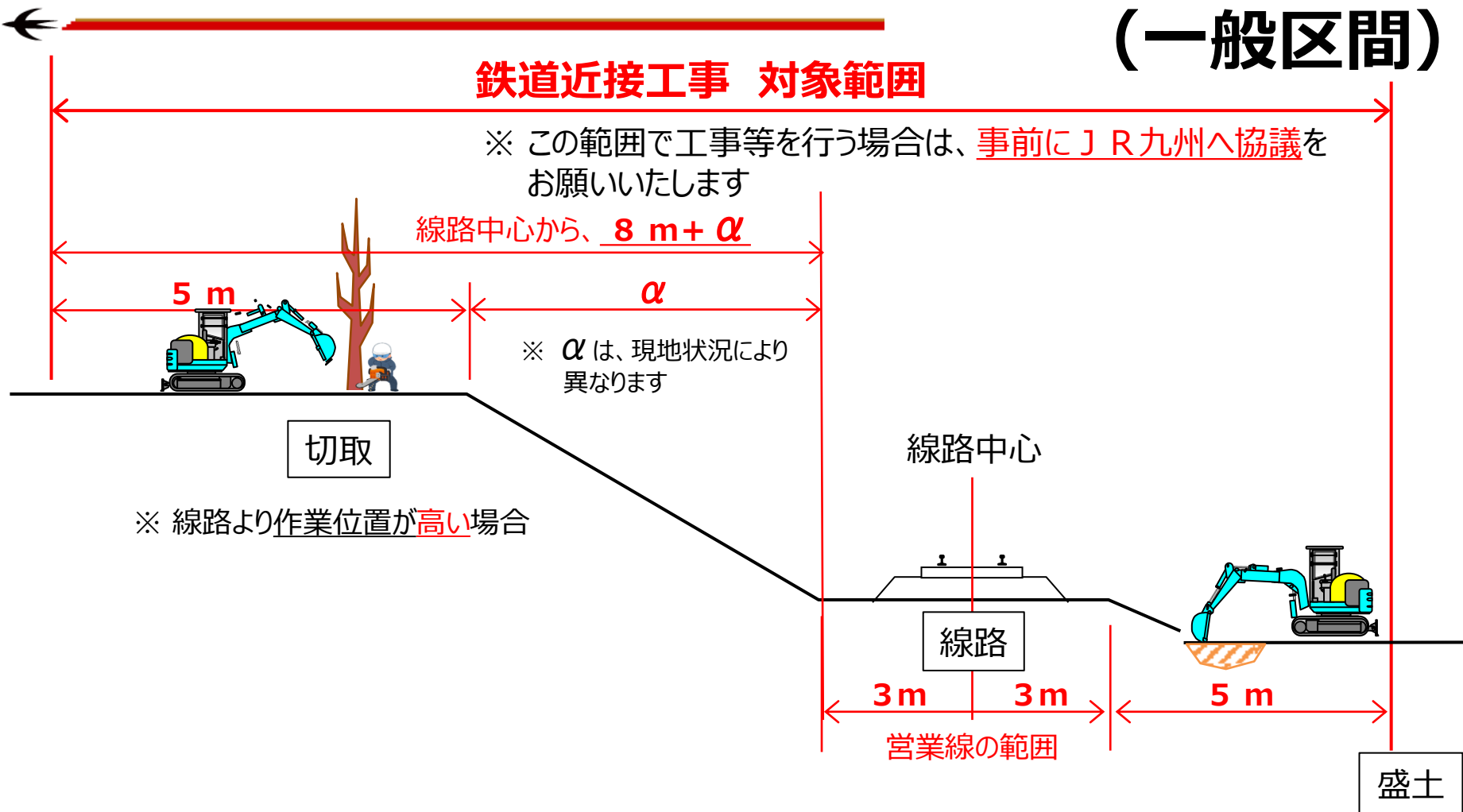
鉄道近接工事の必要性



線路はミリ単位で整備しています。
工事によりレール変状により最悪**脱線の可能性**もあります。

JR九州が規定する鉄道近接工事の範囲

(一般区間)

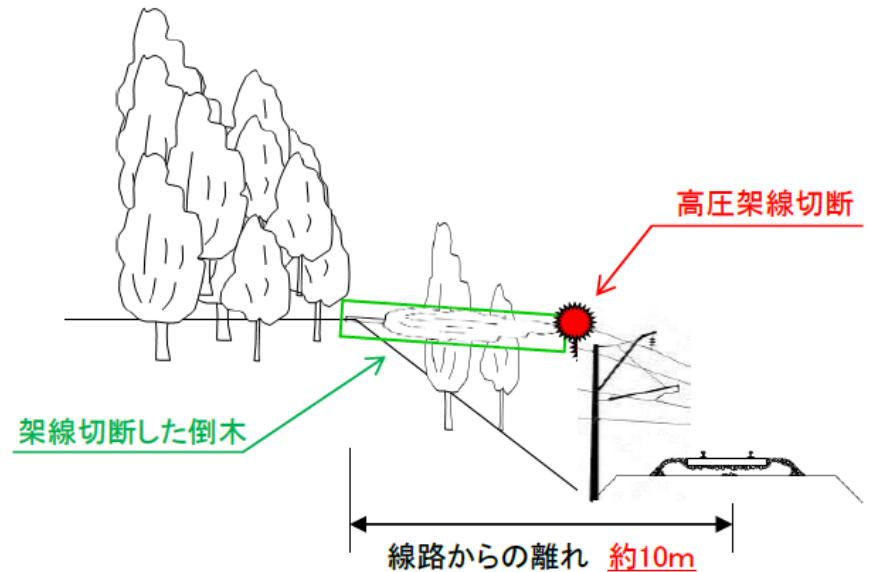


- ※ 線路中心から概ね **8 m以内** は鉄道近接工事の範囲
(施工基面より高い位置での工事は、のり面の距離 α を考慮)
- ※ 8 mを超える場合であっても、**使用する重機などの条件**によっては、鉄道近接工事としての取り扱いが必要となる

JR九州が規定する鉄道近接工事の範囲

(一般区間)

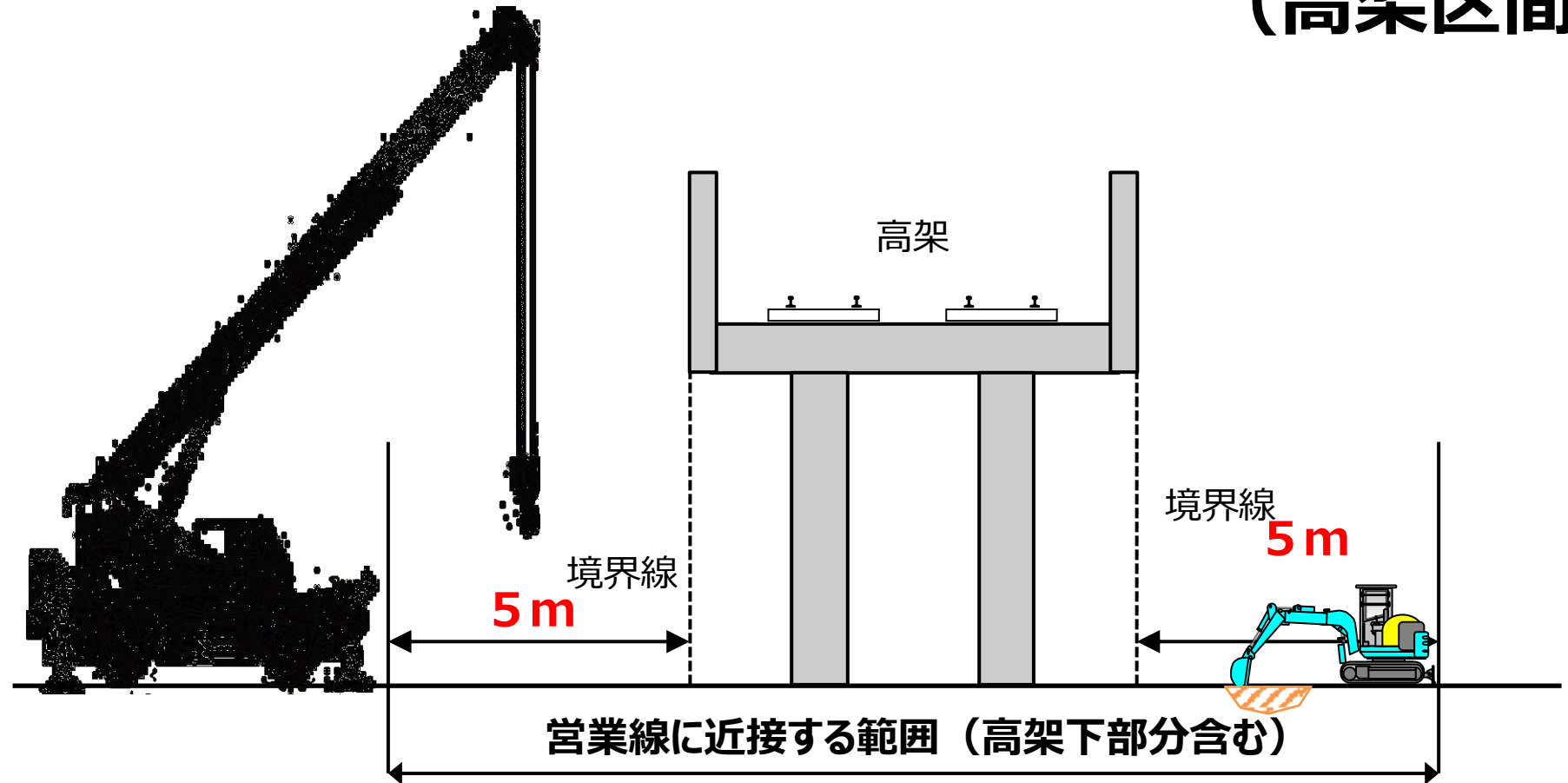
2019年11月11日発生 日豊本線 川原木(信)・重岡間 架線切断



- ・森林組合発注の伐木作業
- ・切断した木が線路側へ倒れ、電気設備を切断
- ・事故発生から運転再開まで約3時間要した
- ・作業従事者が感電する恐れもあった事象

JR九州が規定する鉄道近接工事の範囲

(高架区間)



- ※ 境界線から概ね **5m以内** (高架下部分含む) は鉄道近接工事の範囲
- ※ 5mを超える範囲であっても、**重機械等の転倒範囲** に構造物がある場合は、鉄道近接工事としての取扱いが必要

JR九州が規定する鉄道近接工事の範囲

(高架区間)

2012年11月12日 九州新幹線新玉名・熊本間 列車支障



- ・作業中のクレーンが地下の水路を踏抜き転倒
- ・新幹線高架橋に倒れ掛かり、新幹線が6時間にわたり運転を見合わせ

鉄道近接工事の**事故事例**



2016年10月8日 鹿児島本線 西里・崇城大学前駅間 列車支障



- 建物解体作業
- **仮囲いが線路側へ倒壊**（固定していた建物壁が崩壊）
- 作業従事者が**感電**する恐れもあった事象

鉄道近接工事の事故事例

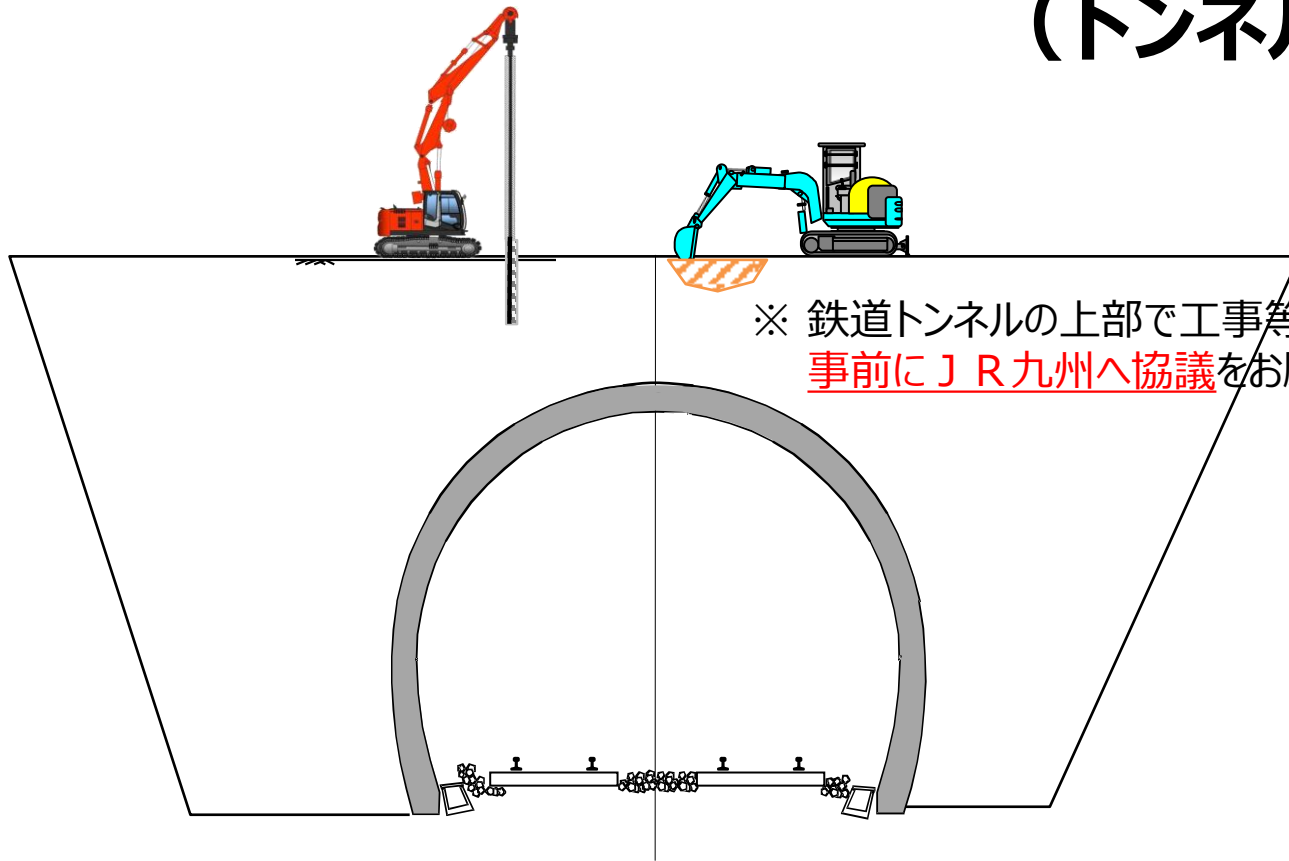
2015年6月8日 鹿児島本線 伊集院駅構内 列車支障



- ・自治体発注の建物(トイレ)新設工事
- ・仮囲いが倒壊し列車のフロントガラスを破損
- ・お客さま・乗務員が死傷する恐れもあった事象

JR九州が規定する鉄道近接工事の範囲

(トンネル上部)



※ 鉄道トンネルの上部で工事等を行う場合は、事前にJR九州へ協議をお願いいたします

- ※ 鉄道トンネルの上部は鉄道近接工事の範囲 (土被りが浅い箇所もあるため)
- ※ 地質調査に伴うボーリング作業や、重機械を使用した掘削、杭打ち等の作業を行う場合、事前の協議が必要

鉄道近接工事の**事故事例**



2019年7月11日発生 長崎本線 肥前三川(信)・浦上間 列車支障



列車とボーリングロッド衝突



トンネル上部 地質調査(ボーリング作業)

- ・鉄道・運輸機構発注の地質調査（ボーリング作業）
- ・**トンネル上部**を貫通し、列車の運行を支障
- ・誤って鉄道近接工事の範囲外での施行と認識
- ・一步間違えばお客さま・乗務員が**死傷**する恐れもあった事象
- ・ボーリングロッドが架線と接触して作業従事者が**感電**する恐れもあった

※鉄道も道路も地図上はトンネル出入口以外は地図事業者が想定でルートに記載しています。

鉄道近接工事の事故事例

2019年7月16日発生 唐津線 久保田・小城間 ケーブル切断



自治体発注工事、発注者は線路中心から8m範囲が近接協議を必要とすることを理解していたが、近接範囲外での伐採を指示していたことから、JRへの近接協議を実施していない。

施工会社が独断で鉄道近接範囲内に立入って作業を行った。

鉄道近接工事の事故事例

2020年3月2日発生 日豊本線 築城・椎田間 ケーブル切断



- ・自治体発注の庁舎建築工事
- ・JR用地内を掘削し、踏切ケーブルを切断
- ・JR及び発注者への事前打合せ無し

鉄道近接工事における保安要員等の配置

- ・ 鉄道近接工事では**保安要員等**※¹の配置が必要となります
- ・ 保安要員等は、**当社が認めた資格**を有する必要があります
- ・ 保安要員等の配置に必要な**費用**は**申請者負担**となります

⇒**受注前に発注者にも上記を理解していただくよう協議願います。**

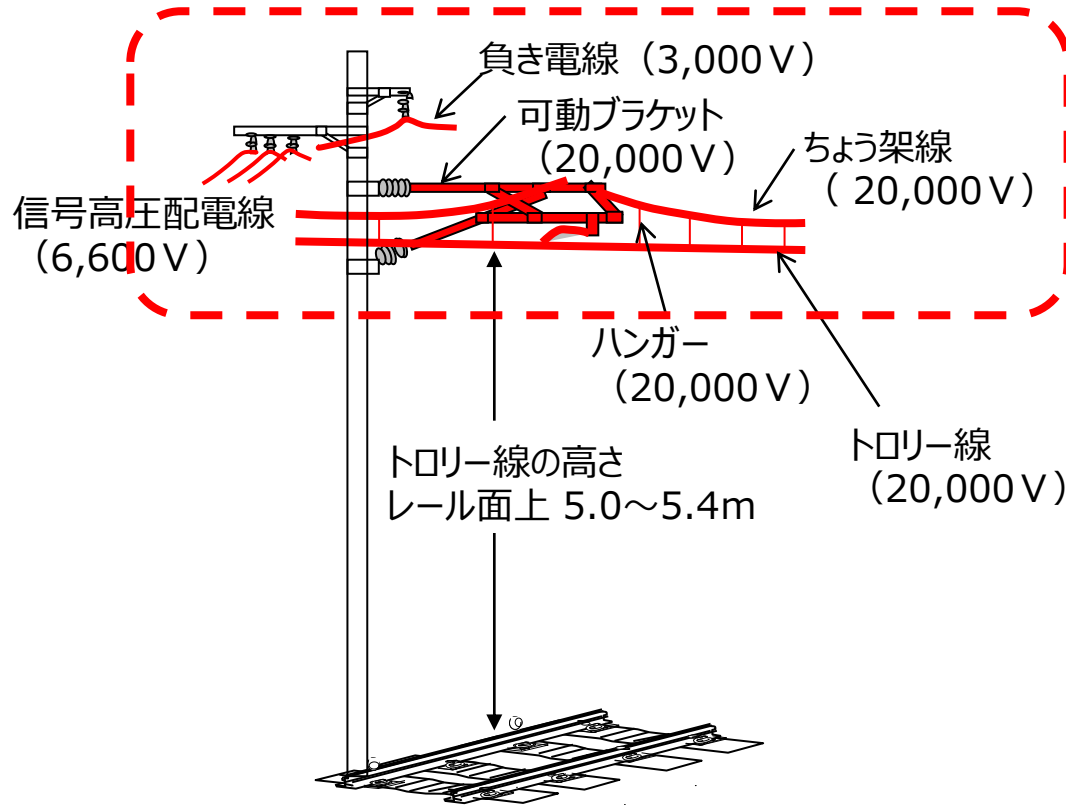
※ 1 保安要員等

職名(資格者名)	任 務
工事管理者	工事施工の指揮及び施工管理、運行状況確認等
列車見張員	列車の進来監視、合図、異常時の列車防護等
重機械指揮者(重機械使用時)	工事用重機械等の鉄道施設等への接触、衝撃防止のための指揮等
重機械運転者(重機械使用時)	重機械指揮者の指揮に従って行う重機械の運転操作等

保安要員等は下記理由により配置が必要です。ご理解ください。

- ・ 必要な手続き（**列車の運行状況確認、書類届出等**）を遂行するため
- ・ **保安体制（列車見張体制等）**を確保するため
- ・ 異常時の迅速な対応を行うため

当社の電気設備



赤い部分は全て電気が流れており、**感電**の恐れがあります

電気設備に接近しないよう十分注意をお願いします

- ・ 施行内容・位置によっては、電気設備の**防護**や**停電の処置**が必要です
 - ・ 電気設備の防護や停電の処置に必要な**費用**は**申請者負担**となります
- ⇒ **受注前に発注者にも上記を理解していただくよう協議願います。**

当社の電気設備

53 日豊本線 南宮崎駅～清武駅間における感電死亡

死 傷 者：死者1名(鉄道係員)

種 別：感電

日 時：昭和63年6月19日(日) 13時30分頃

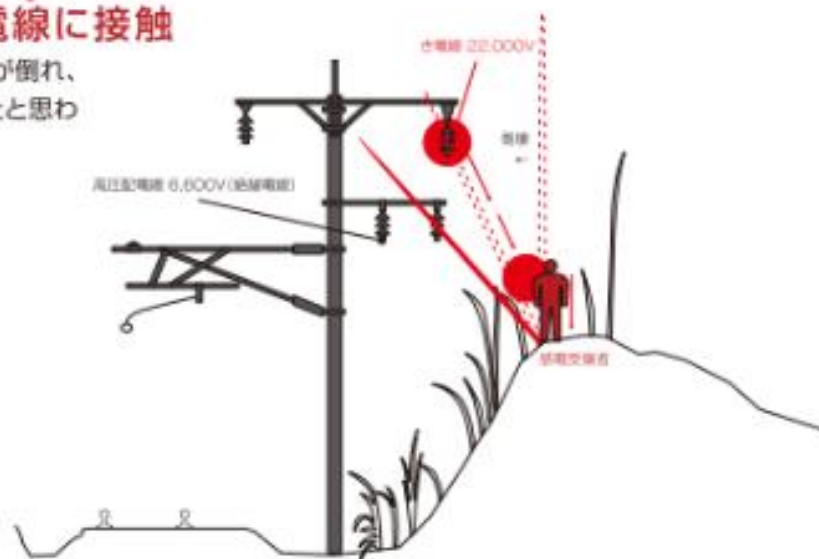
場 所：日豊本線 南宮崎駅～清武駅間

関 係 列 車：なし

原因

伐採作業中に竹がき電線に接触

単独での伐採作業中に、伐採した竹が倒れ、
き電線に竹の先端が触れて感電したと思わ
れる。



近接協議の流れ（工事施工まで）

STEP 1 : 工事の事前連絡

- ※鉄道近接工事の範囲であるか否か判断
- ・作業箇所・工事内容・鉄道施設への影響の確認

STEP 2 : 協議書類取交し

- ・申請者が協議書を提出し、J R が回答
- ・**保安要員等の費用については申請者負担**

STEP 3 : 覚書等取交し

- ・事故防止に関する覚書、施工計画書、事故防止計画書、施工打合せの取交し

STEP 4 : 工事施工

安全の取り組みについて（ホームページ）

○ J R九州ホームページ「安全へのお願い」

■ 鉄道近接工事を行うときのお願い

JR九州の線路沿線の列車運行に影響を及ぼす範囲において、自治体や地権者さま等の発議者によって行われる工事のことを線路近接工事といいます。この鉄道近接工事の施行にあたっては、工事に起因した事故や事象により作業員の方々や多くのお客さまが被害に合わせ、取り返しのつかない事態が生じることを無きよう、あらかじめ弊社と発議者との間で安全に関するルールと手続きを取り決める必要があります。鉄道近接工事の概略：「鉄道近接工事・建設工事公衆災害防止対策要綱（平成5年1月12日建設省経建発第1号）」

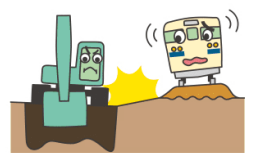


■ 鉄道近接工事の主な作業

JR九州の線路沿線で下記の作業を行う場合は、あらかじめ弊社にご連絡ください。

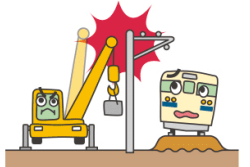
- ・建物の新築及び解体
- ・木や竹の伐採
- ・道路・橋梁等の点検、補修、架設、塗装など
- ・電気通信事業者による線路上空構架
- ・電柱立替 など

⚠ 掘削作業



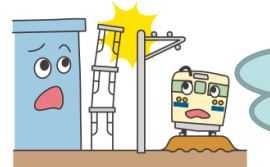
線路の近くでの掘削は地盤がゆるんで道路が傾き、列車が脱線する可能性があります。

⚠ 重機を使った作業



線路の近くでクレーン車を使う時は荷物が電柱や電線に触れ感電する可能性があります。

⚠ 足場を使った作業



線路際での建設工事で足場が揺れると電線にかかるなど、長時間列車を止める事になります。

■ 鉄道近接工事の事故事例

<h4>コンクリート壁の倒壊</h4> <p>原因：宅地造成中のコンクリート壁が倒壊し、建築境界を支援</p>	<h4>仮囲いの列車への衝突</h4> <p>原因：トイレ新設のための仮囲いが建築境界を交差し、列車へ衝突</p>
---	---

■ 鉄道近接工事のお問い合わせ

[> 近接工事のお問い合わせから業種までの流れ](#)
[> 近接工事の申請に関して、よくあるお問い合わせ](#)
[> 近接工事の申請に必要な添付書類及び記載例について](#)

鉄道近接工事の申請はこちら >

<システムの問い合わせに関する問い合わせ先>
 JR九州コンサルタント(株) 近接協議担当
 090-1600-8708

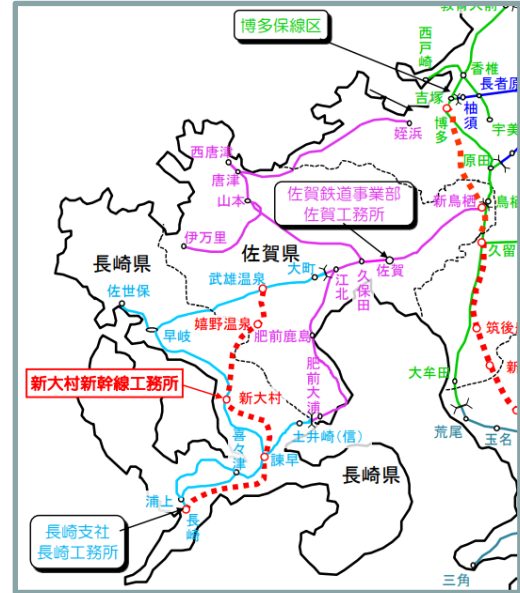
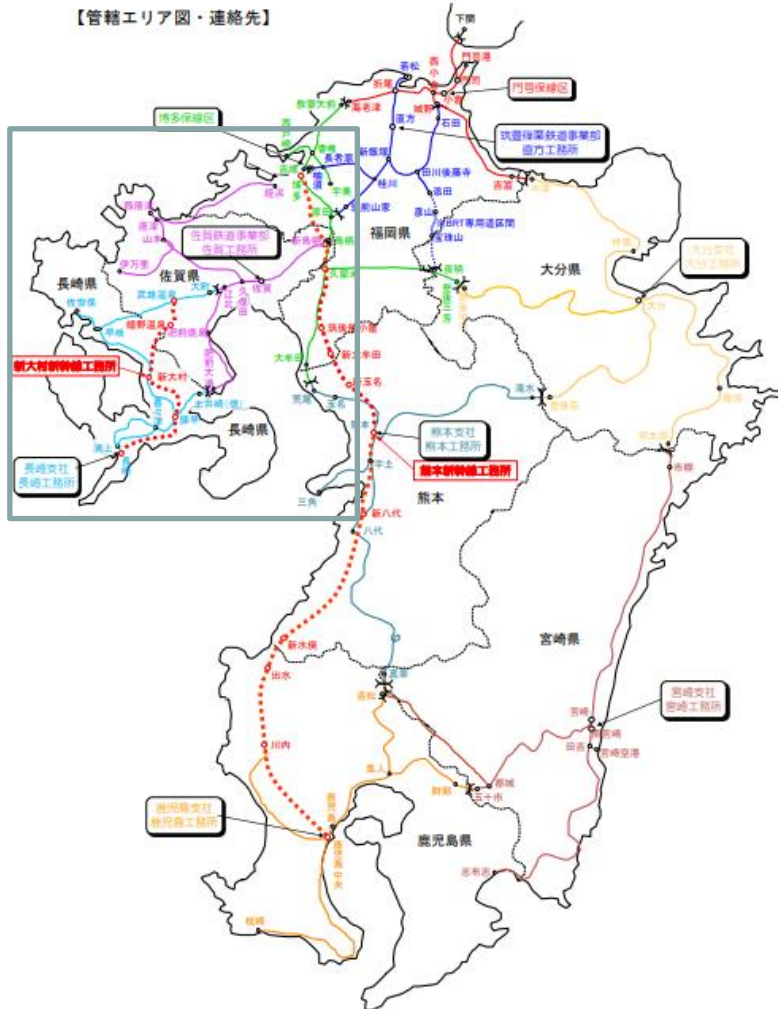
鉄道近接工事の申請はこちら >

※詳しくは『 JR九州HP > 企業・I R・採用 > C S R > 安心・安全の取り組み > 安全へのお願い 』

『JR九州 近接』で検索していただいても結構です。

安全の取り組みについて（ホームページ）

【管轄エリア図・連絡先】



■ 鉄道近接工事に関する協議先一覧

	協議担当箇所	住 所	連絡先
在 来 線	門 司 保 線 区	福岡県北九州市小倉北区京町4丁目7番	093-521-7355
	博 多 保 線 区	福岡県福岡市東区菅松2-34-1-1	092-642-1720
	筑豊篠栗鉄道事業部 直方工務所	福岡県直方市大字山部301番地1	0949-22-0520
	佐賀鉄道事業部 佐賀工務所	佐賀県佐賀市神野西1丁目8-4	0952-23-2939
	長崎支社 長崎工務所	長崎県長崎市尾上町8番6号	095-823-0108
	大分支社 大分工務所	大分県大分市要町1番1号	097-513-5853
	熊本支社 熊本工務所	熊本県熊本市西区春日3丁目15番43号	096-326-6965
	鹿児島支社 鹿児島工務所	鹿児島県鹿児島市上荒田町40番16号	050-5051-0636
宮崎支社 宮崎工務所	宮崎県宮崎市東大淀2丁目60番地	0985-63-5308	

※協議業務の一部をJR九州コンサルタンツ(株)に委託しております。

■ 新幹線 鉄道近接工事に関するお問い合わせ

	お問い合わせ先	住 所	連絡先
新幹線	熊本新幹線工務所	熊本県熊本市西区田崎1丁目2番1号	096-354-7800
	新大村新幹線工務所	長崎県大村市小路口町745-2	0957-54-4501

※新幹線構造物は(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構の保有財産となるため、同社との協議も必要になります。

HPに管轄エリア図も添付していますので、参考にしてください。



ありがとうございました

